

【事業概要】

・当該区間は平成29年8月の豪雨により路肩法面が崩落しており、安心安全な交通が確保されていない状況でした。また、国道252号は奥会津地域を結ぶ非常に重要な路線であるため、法面の崩落が進み当該路線が通行不能となった場合の影響は甚大であり、早急な復旧が求められておりました。そこで県では崩落の進行を防ぐために、軽量盛土を利用した擁壁で崩落法面を抑える工事を実施しておりましたが、今年の9月に無事に**工事が完了しました**。

- ・事業着手 平成29年度
- ・事業完了 平成30年度9月26日
- ・計画内容 L=16.0m W=5.5m (6.4)m

【平成30年度の事業内容】

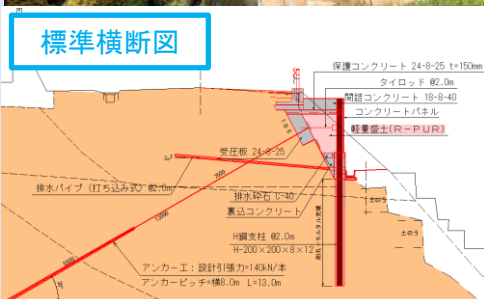
- ・軽量盛土工 L=11.6m V=18.9m³
- ・舗装工 L=16.0m A=24.2m²



施工前



施工完了



標準横断面図



↑発泡ウレタンを充填している様子

平成30年9月に工事が無事完了しました。現場吹付の発泡ウレタンによる軽量盛土を利用した擁壁で崩落部を抑え、周辺を植生により覆ったことで、降雨による法面の浸食・崩落を防止する効果があります。

